

ます。十二年度には二四店、十三年度には二九店を認定しました。「いせしま健康もてなしの店」ガイドマップ(写真2)も作成し、市町村をはじめ観光協会や飲食店に配布して啓発を行っています。

認定店へのアンケート調査結果では、認定を機会に、表示したメニュー(野菜たっぷりメニューなど)の注文が増えたり、分煙に取り組む店が見られるなど、健康づくりに役立ちたいという意識が高まっています。

そのほか、食育を推進していくために研修会を開催し、市町村、学校その他関係機関と連携し、栄養・食生活の課題を推進していきます(表2参照)。

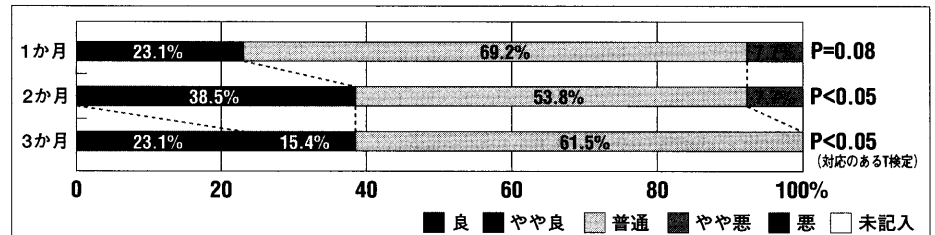
②ウォーキングで身も心もリフレッシュ!

「健康御師」が普及に一役

高齢者や腰痛、膝痛のある人でも安全にできるよう、十二年度にウォーキングプログラム「豊かにあれウォーク(身体づくり編)」を産官学と住民の協働で策定しました。

策定段階から住民の意見を取り入れたことで、これまで以上に運動が自分のものとなり、積極的に地域での運動の普及者(運動アドバイザー)として活動してもらえるようになりました。この方々を伊

図1 ウォーキングプログラム「豊かにあれウォーク(身体づくり編)」実施後の体調の変化



勢にちなんで「健康御師」と名づけ、現在はイベントや市町村の健康まつり、肥満教室などの講師として活躍していただいています。

運動プログラムの評価に

つては、ウォーキングイベントで身体づくりのプログラムを提供し、その後プログラムを毎日実践してもらい、一か月、二か月、三か月後に策定メンバーとともに効果判定を行いました。その結果、体調がよくなった人の割合が有意に増加しました(図1)。

十三年度は引き続き、「豊かにあれウォーク」の普及やウォーキング教室の実施、「豊かにあれウォーク(歩き方編)」の作成、

表4 歯の健康の目標(南勢志摩地域全体)

目 標	守ろう自分の歯 つなごう0から8020へ
目標指標	<p>【保健水準の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●う歯のない幼児(3歳児)の増加(46.5%→70%以上) ●学齢期(12歳)の1人あたり平均う歯数の減少(3.24本→1本) ●進行した歯周炎(45~54歳)の減少(28.0%→14%) ●80歳で20本以上、自分の歯を有する人の増加(21.4%→43%) <p>【住民自らの行動の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加(33.3%→67%) ●定期的な歯科受診の受診者の増加(33.8%→68%) ●歯磨きを1日2回以上する人の増加(59.4%→95%) ●フッ化物配合歯磨き剤の使用の増加(31.7%→95%) ●歯間部清掃器具の使用の増加(24.4%→73%) <p>【行政・関係機関の取り組みの指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歯磨きを実施する学校の増加 ●フッ化物歯面塗布に取り組む市町村の増加(4市町) ●かかりつけの歯科医がある人の増加(69.0%→95%)
年次計画	<p>13年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「歯の健康を考える会」の発足 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健および対策に関する研修 ・歯科保健に関する情報の収集および提供 <p>14年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「歯の健康を考える会」の活動のなかで住民参画事業を企画(「いい歯の日」などの設定)

表5 たばこの目標(南勢志摩地域全体)

目 標	みんなでめざす たばこ0
目標指標	<p>【保健水準の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●喫煙率の減少 <p>【住民自らの行動の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●未成年者の喫煙をなくす ●喫煙が及ぼす健康影響について十分な知識を持つ人の増加 <p>【行政・関係機関の取り組みの指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共の場における分煙実施の徹底 ●禁煙を希望する人が禁煙支援プログラムによる禁煙指導が受けられる機会の増加
年次計画	<p>13年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●喫煙の実態把握(中学生の喫煙に関する実態調査) ●禁煙指導リーフレットの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦とその夫への禁煙の呼びかけ~母子手帳交付時の配布・指導の実施 ●喫煙防止教育教材の貸し出し ●公共の場の分煙実施に向けての支援 ●禁煙支援サポート体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の喫煙個別健康教育実施に向けての支援 ・禁煙支援について医師会と協議 <p>14年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校・中学校における喫煙防止教育 ●喫煙防止教育指導者研修会の開催 ●喫煙防止教育への教材の貸し出しおよび支援 ●公共の場の分煙実施に向けての支援 ●禁煙支援サポート体制の整備

運動アドバイザー「健康御師」の育成を行いました。今後は、さらに市町村、教育委員会、運動アドバイザーなどと連携し、各地域に自主グループを育成し、ウォーキングの日常化をはかっていきます(表3参照)。

(参考)健康御師:「御師(おんし)」とは、平安の頃より伊勢神宮参拝者のために祈禱、お神楽を奏し、宿を提供し、参拝の案内をする者。プランでは、運動を自ら実践し、伝える運動アドバイザーを、伊勢の地にちなんで健康御師と名づけた。

③守ろう自分の歯

地域で噛むことを考える

管内では地方計画策定前から、十二年度の県モデル事業として、乳幼児対象のう蝕

予防のフッ化物塗布事業が始まり、十三年度は歯科医師会、関係機関と協働で南勢志摩地域の歯科保健推進の基盤「地域8020運動推進協議会」を設置しました。

「豊かにあれ健康づくり運動」では十二年度に市町村と地域の現状を分析し、それぞれの課題と目標、取り組みの方向性を示し、十三年度には市町村担当者と当部の担当者で「歯の健康を考える会」を発足させ、情報の交換と共有化をはかりながら、フッ化物、MIDORIモデルと質的評価の研修会を開催するなど、先のモデル事業や協議会と連携をとりつつ、地域の歯科保健を推進しています。

今後は、乳幼児から高齢者までの生涯を通じた歯の健康づくりを推進するため、市